



2025年10月期 第2四半期(中間期)決算 補足説明資料

株式会社オービス (証券コード:7827)

2025年6月13日



売上高 (前年同期)

2Q
累計

6,735百万円
▲ +14.0%
(5,908百万円)

営業利益 (前年同期)

2Q
累計

385百万円
▲ +26.6%
(304百万円)

経常利益 (前年同期)

2Q
累計

378百万円
▲ +21.6%
(310百万円)

売上総利益 (前年同期)

2Q
累計

1,202百万円
▲ +11.2%
(1,081百万円)

営業利益率 (前年同期)

2Q
累計

5.7%
▲ +0.5%
(5.2%)

親会社株主に帰属する 中間純利益 (前年同期)

2Q
累計

241百万円
▲ -5.0%
(254百万円)

ハウス・エコ事業において、大型物件の完工やM & A効果もあり、**増収**を実現。
 木材事業において、**原材料高や歩留率の低下**があったものの、
 ハウス・エコ事業において、受注時採算性の改善や原価管理の徹底により、**利益率が向上**。
 木材事業の落ち込みをカバーし、全社ベースでは**増収**を達成。

決算 ハイライト

売上高	6,735 百万円	+14.0 % (前年同期比)
営業利益	385 百万円	+26.6 % (前年同期比)
経常利益	378 百万円	+21.6 % (前年同期比)

トピックス

木材事業

原木消化量は前年同期比**1.7%増**、梱包マーケットが低迷する中、**高い工場稼働率**を維持。外国産材から国産材への切り替えが更に加速、国産材(杉)の出荷比率は前年同期比**2%増の68%**となり、外国産材(NZ松)を大きく上回る。

ハウス・エコ事業

2024年3月に連結子会社化した寿鉄工株式会社の業績寄与が当期から本格化。官公庁大型物件の完工もあり、**売上高、営業利益とも高い成長率を実現**。

太陽光発電 売電事業

パワーコンディショナーの故障があったものの、業績は前年同期とほぼ**同水準**を確保。

ライフクリエイト 事業

一部料金の値上げ効果があったものの、クラブハウス及びその他付帯設備等の**修繕・改修に係る費用が増加**。

2025年10月期 第2四半期 連結業績



木材事業は、中国経済の低迷により**梱包マーケットが低迷**するも、これまでとは**異なった市場・分野での顧客層が広がり**をみせている。

これにより**前年同期を上回る生産(原木消化)**を実施。

一方、ハウス・エコ事業は、**大幅な増収増益**を達成。全社としては、**営業利益の増加**を確保。

(単位:百万円)	2024年10月期 第2四半期	2025年10月期 第2四半期	増 減 額	前年同期比
売 上 高	5,908	6,735	+827	+14.0%
木材事業	3,723	3,753	+29	+0.8%
ハウス・エコ事業	1,805	2,621	+816	+45.2%
太陽光発電売電事業	185	183	-2	-1.6%
ライフクリエイト事業	177	177	0	+0.4%
不動産事業	16	-	-16	-
売 上 総 利 益	1,081	1,202	+121	+11.2%
販 売 管 理 費	776	817	+40	+5.2%
営 業 利 益	304	385	+80	+26.6%
木材事業	272	177	-95	-34.9%
ハウス・エコ事業	90	250	+159	+176.2%
太陽光発電売電事業	107	108	0	+0.7%
ライフクリエイト事業	25	12	-12	-49.5%
不動産事業	9	-	-9	-
全 社 費 用	-201	-164	+37	-18.7%
経 常 利 益	310	378	+67	+21.6%
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	254	241	-12	-5.0%

1 梱包マーケットは**低迷**するも、製・商品出荷量は前年同期と**同水準を維持**。

2 期首から**寿鉄工株式会社**の損益(売上高)が**連結対象**(前年同期は貸借対照表のみ連結)。当社において、官公庁の年度末を迎え順調に大型物件の引き渡しが完了。

3 発電量の多い4月の**日照時間は長かったものの**、冬の**天候不良の影響**により**微減**。

4 来場者数は**微減**、一部料金の**値上げ**により前年同期と**同水準を維持**。

5 2024年10月期に賃貸用不動産2棟を譲渡、**不動産事業から撤退**。

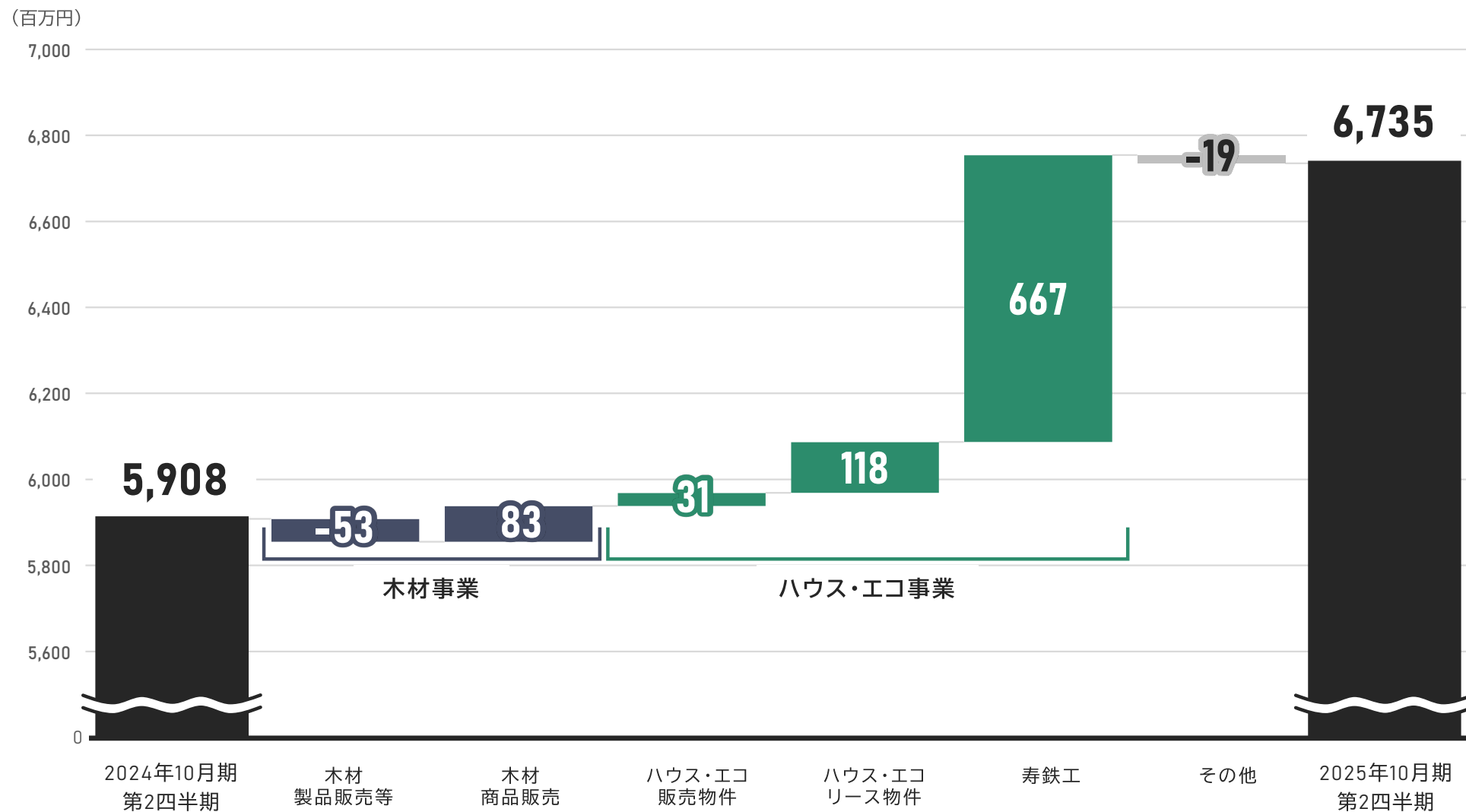
6 期首から**寿鉄工株式会社**の損益(販管費)が**連結対象**(前年同期は貸借対照表のみ連結)。当社において、昇給・賞与増による**人件費が増加**。

7 **原材料高や歩留率の低迷**により減益。

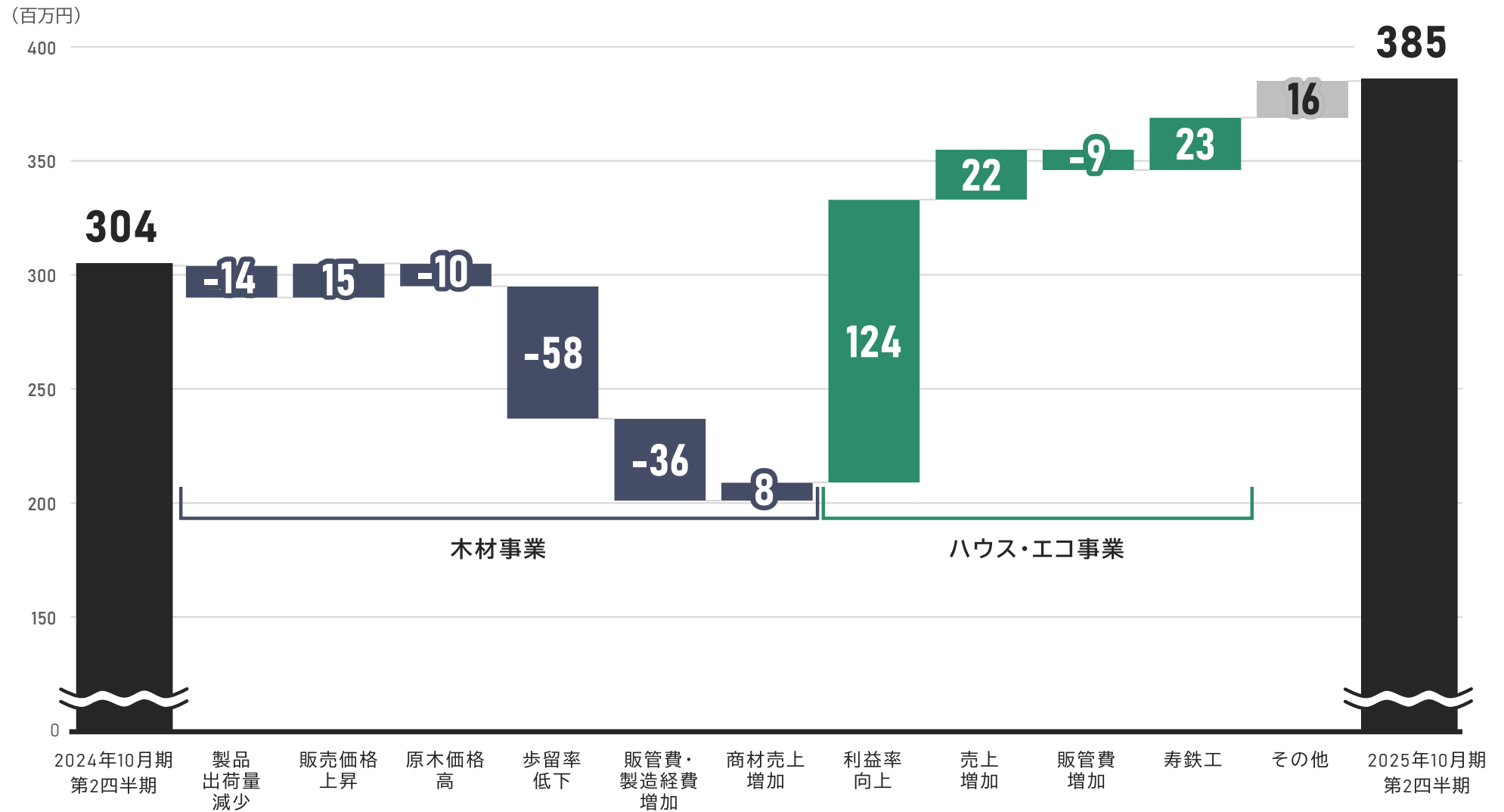
8 原価管理の徹底や価格転嫁等により**大幅な増益**を達成。

9 株式取得関連費用(アドバイザー費用等)の**減少**。

業績分析(売上高の増減要因)

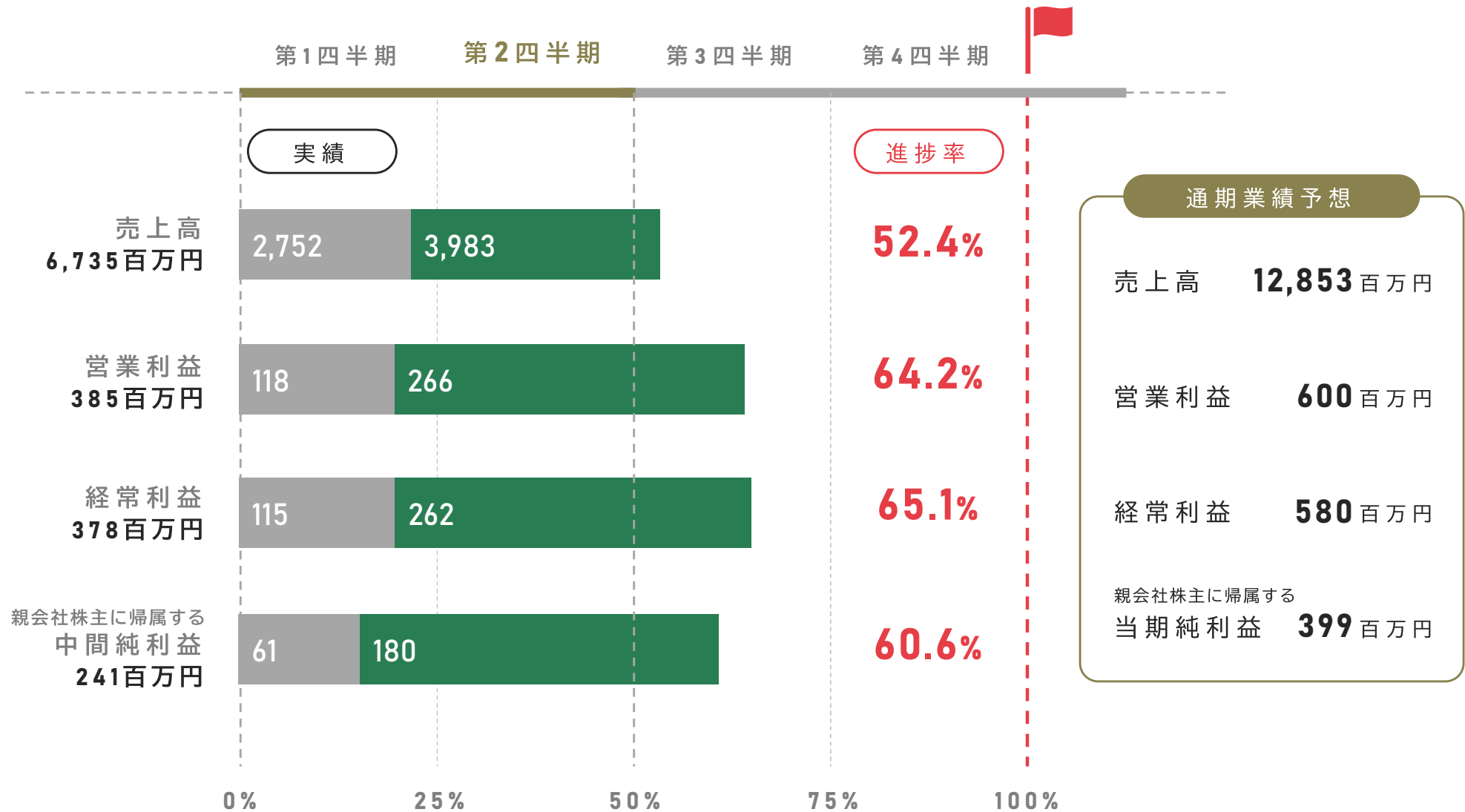


業績分析(営業利益の増減要因)



2025年10月期 通期 業績進捗率(連結)

米国の関税政策の影響で国内外の経済情勢は急速に不透明感が増していることから、
2024年12月13日に公表した業績予想は据え置き。



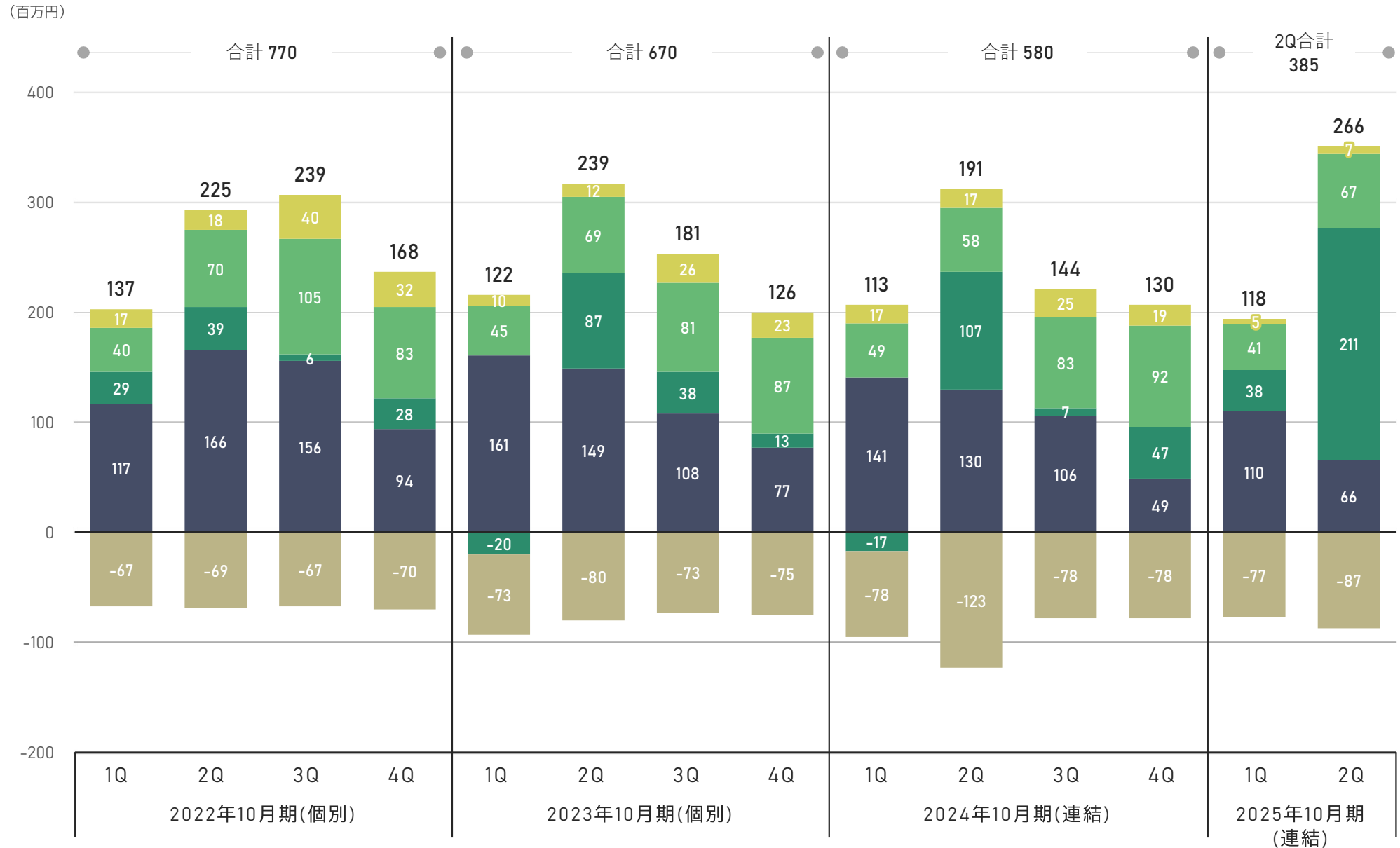
売上高(事業・四半期別)

■ 木材事業 ■ ハウス・エコ事業 ■ 太陽光発電売電事業 ■ ライフクリエイト・不動産事業

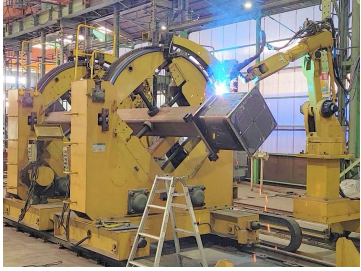


営業利益(事業・四半期別)

■ 木材事業 ■ ハウス・エコ事業 ■ 太陽光発電売電事業 ■ ライフクリエイト・不動産事業 ■ 全社費用



溶接ロボットの導入により生産能力増強。 2025年10月期の下期にすべて完成。

ハウス・エコ事業 (寿鉄工)	2025年10月期 上期	2025年10月期 下期	2026年10月期 上期	効果 内製化・コスト削減を図る  生産性・効率化が大幅に向上 
鉄骨柱大組立溶接ロボットシステム		8月導入予定  シングルアークをツインアークに入れ替え。 従来の約1/2の溶接時間を実現。		
鉄骨コア連結溶接ロボットシステム		9月導入予定  新規導入し、納期対応力を強める。		

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。



IR 担当 窓口

株式会社オービス 経理部

- ・ TEL 084-934-2621 FAX 084-934-2624
- ・ E-MAIL: ir@orvis.co.jp
- ・ URL: <https://www.orvis.co.jp>